

4 石間歩坑口

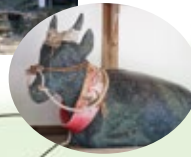


天正2年(1574)、中瀬で初めて開かれた間歩(=坑道)。その後も、昭和44年の閉坑まで主要坑道の一つとして活躍した。

3 高瀬山 大日寺



この寺の下の「大日淵」で砂金が発見されたことで、中瀬金山が見つかった。牛石像があり、農家が牛を飼っていた頃の「大日祭り」は大層な賑わいだった。



宝引山(803m)

1 中瀬金山関所(トロッコ広場)



Check !!

まちの交流拠点施設。鉱山関係資料の展示の他、隣接するトロッコ広場には、鉱山稼働時期に使用していたトロッコを常設している。

中瀬鉱山の自然金レプリカ展示



2 陣屋(金山役所跡)



天正10年(1582)、豊臣秀吉配下の奉行によって、この付近に金山屋敷が建てられた。江戸時代に入った慶長5年(1600)、徳川家康配下の生野奉行・間宮新左衛門によって、ここに金山役所、役宅、米蔵、牢屋が建てられたと伝えられる。享保8年(1723)に役所は廃止されたが、その敷地と古い石垣が今に残る。

北近畿豊岡自動車道「八鹿氷ノ山IC」より車で約20分

WALK MAP 中瀬 なかせマップ

大屋の筏地区へと抜ける峠道があった